

まちの話題



5月20日[Fri]

多久市防災パトロールを実施

ハザードマップはこちら▶



▲復旧工事の進捗状況の説明を受ける横尾市長（左）

風水害の多発期に備えるため、国土交通省武雄河川事務所牛津出張所などの関係機関とともに、市内の災害危険箇所を巡回する「防災パトロール」を実施しました。

今回は、横尾俊彦市長らが防災ヘリコプターに乗り、上空から巡回したほか、特に甚大な被害の恐れがある6か所を確認。災害復旧、対策工事の進捗状況や災害発生時の体制に関して、関係機関と情報共有しました。

市民のみなさんも、もしものときに自分や大切な人を守ることができるよう、事前にハザードマップを見て、避難経路を確認するなど、災害に備えておきましょう。



5月21日[Sat]

多久市子ども探検隊春編を開催



▲参加者全員で登りきりました

義務教育学校3～8年生を対象に、“多久をもっと知って、もっと好きになろう！多久の自然をたっぷり楽しむ”がテーマのイベント「多久市子ども探検隊春編～天山登山～」(主催：多久市中央公民館)が行われました。

児童・生徒22人が参加し、まずは雨山(標高996m)をめざして、多久の登山口を出発。雨山の山頂に着くと、そこから稜線を登り、約1時間かけて天山(1,046m)山頂へ。登頂した子どもたちは、汗を拭きながら「疲れたけど、景色がきれい」「お弁当がおいしい」と満足げに顔をほころばせました。このイベントを企画した同隊の吉永雅紀隊長(中央公民館長)は「いい体験ができたと思います。これからもふるさと多久の自然に触れてほしいです」と笑顔で話しました。

夏編は7月16日(出)に今出川で沢登りが行われます。

6月2日[Thu]

令和4年度手話奉仕員養成講座を開始



▲熱心に手話を学ぶ受講者のみなさん

聴覚障害者に対する理解を深め、日常生活を送るために必要な単語や手話表現技術を習得する「手話奉仕員養成講座」を今年度も開講しました。この講座は平成26年から多久市主催で行っているものです。

今年度は全47回を予定し、定員の10人が参加。第1回では開講式の後、一般社団法人佐賀県聴覚障害者協会から招いた講師の坂本和也さんと南里トミエさんの指導のもと、受講者のみなさんは熱心に手話を学びました。

受講した女性は「SAGA2024国スポ・全障スポの手話ボランティアとして参加することを目指しています。この講座でしっかり手話を習得し、お役に立ちたいです」と抱負を話しました。

